

広報かねやま

KANEYAMA



● COVER

オリジナル門松づくり

有屋小学校

January

1

2022

No. 709

飛ばさず読んでほしい！

これからの 公共施設のこと

1 「金山町公共施設等総合管理計画」を改定します

町にある公共施設は、昭和から平成にかけての人口やニーズに基づいて整備してきました。現在、多くの施設で老朽化が進み、維持管理経費の増加が課題となっています。「人口」「町民ニーズ」「利用見込み」「安全性」から判断し、皆さんから利用される公共施設のあり方を示すために、金山町公共施設等総合管理計画を改定します。

金山町公共施設等総合管理計画（案）に関するパブリックコメントを募集します。

- ▼募集方法 メールで受け付け（任意様式）
- ▼募集期限 1月31日（金）

〒 役場総合政策課 財政係
☎52-2111（内線234）



メールはこちらから▲

公共施設の管理コスト 【直近5年間の実績】

およそ **6** 億円

財政負担が
ますます
増加

2

現在の施設所有数で「建物」の大規模改修や更新を行った場合、今後40年間で約273億円、1年間あたり6.8億円の費用がかかると試算しています。さらに「道路」「上下水道」「橋梁」を合わせた場合は、公共施設の維持管理費だけで、40年間で約572億円、1年間あたり14.3億円の負担が必要であると試算しています（現行の利用方法で試算）。

【公共施設の維持管理経費試算】 （総務省システムによる）

	1年あたり	今後40年
建物のみ	6.8億円	273億円
建物・道路・ 上下水道・橋	14.3億円	572億円

▶福祉・教育サービスが低下しないよう抑制！

3

施設の適正に維持管理・更新するために、今後どのように取り組んでいくの？

町の財政状況や人口の見通しなど、公共施設管理を取り巻く状況を次のとおり分析しています。

- ・建物に対する維持管理・更新費用は年間6～8億円と見込まれる。
- ・利用者数や収入に見合わない施設保有量になっている。
- ・20年後の人口は約3割減少する見通し。
- ・20年後の人口規模で推計すると、地方交付税が約2億4千万円減少する見通し。
- ・人口の減少は地方交付税だけでなく、税収や各種料金収入にも影響する。
- ・財源不足が進むことで、施設管理経費の負担割合がさらに大きくなる。

金山町公共施設等
総合管理計画（案）
はこちらから▼



分析を踏まえた町の大方針は…

- 「施設の集約や廃止による維持管理・更新費用の抑制が必要」
- 「小中学校、診療所、農村環境改善センター、やくし苑などの教育・医療・福祉・避難所の拠点を優先的に維持する」

広報かねやま

KANEYAMA

January

1

2022

No.709

▼防災情報やイベント情報など、町からの行政情報をメールで受け取ることができます。



登録はこちらから！

■ も く じ ■ Contents

- P3 ◆これからの公共施設のこと
- P4 ◆ビーナッツ4年目を迎えて
- P6 ◆町政NEWS
- P8 ◆まちのわだい
- P10 ◆ほっとクリニック・防災コラム・
いつまでも住み慣れた金山で
- P12 ◆お知らせ掲示板
マイナンバーカード・空き家バンク
- P14 ◆図書室だより・地域おこし協力隊通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P16 ◆キラリ金山びと

= 今月の表紙 =



12月15日、毎年恒例の有屋小学校門松づくりが行われました。完成した門松を手に笑顔で記念撮影。6年生は、男結びが上手にできて、とてもいい思い出になったと話してくれました。

1 月行事予定表

【町立金山診療所 診療予定】

🏥▶ 疼痛外来 ①▶ 小児科外来 ㊟▶ 夕診

1 (土)	金山町町制施行日 (97周年)	
4 (火)		①
5 (水)	すこやか相談	㊟
6 (木)		①
9 (日)	りゅう馬スプリントスキーフェスタ2022 金山町成人式 消防団幹部年頭集会	
11 (火)	1歳6か月健診	①
12 (水)		㊟
13 (木)	ベビーマッサージ	①
14 (金)	もがみ北部商工会金山支部新春祝賀会	
15 (土)	家庭教育研修会	
16 (日)	神室雪まつり	
17 (月)	心配ごと相談	🏥
18 (火)		①
19 (水)	すこやか相談 読み聞かせ・お話し会	㊟
20 (木)		①
22 (土)	SHK杯クロスカントリースキーリレースプリント大会	
24 (月)	心の健康相談	🏥
25 (火)	心配ごと相談	①
26 (水)		㊟
27 (木)		①
29 (土)	金山小校内スキー大会 明安小閉校記念スキー大会	
30 (日)	有屋小閉校記念校内スキー大会	
31 (月)		🏥

※行事の変更等は、行政放送、情報メール、ホームページ等でお知らせします。

町長室から



新年明けましておめでとうございます。町民の皆さんには、穏やかな新年をお迎えのことと思います。昨年の今ごろは、暮れの12月からコロナ感染者数が増大し、国内で第3波が発生していたことから、県をまたぐ移動が厳しく制限されていました。今回は、国内の感染状況も低く抑えられ、県間の移動制限も解除となつていきますので、久しぶりの帰省で、賑やかな正月となっている家庭も多いのではないのでしょうか。それでも、コロナ感染では油断は禁物です。先月12月には、国内でも新たな変異株オミクロン株の感染者が160名を超えるなど次第に増大しています。県内でも、感染者0が続いたかと思うとまたクラスターが発生することになりました。引き続き、マスク着用、手洗い、手指消毒など基本的な生活習慣の徹底をお願いいたします。また、3回目のワクチン接種については65歳以上の高齢者の方々には、2回目接種後8か月が経過する、この2月中頃に集団接種できるように準備を進めています。これから本格的な降雪期となり、移動中に滑ったり、転倒したりする危険性も高まりますので、十分注意して接種を受けられるようお願いいたします。

ところで、「一年の計は元旦にあり」という諺があります。年初めに一年の自分の計画をしっかりと立てることは大切だということ。年も改まり気持ちも新たに、今年の目標をしっかりと立て、本格活動していければ充実する一年になるのではと私も自分に言い聞かせています。それもあって、このコーナー（町長室から）を今回から奇数月に発信させていただきます。少しでも町づくりを身近に感じてもらう、町の諸課題も共有していただく機会になればという思いです。まずは、本年一年、町そして町民皆さんの安らかなることをご祈念いたします。

佐藤 英司

ビーナッツの商品をご紹介します



①ビーナッツ〈揚げ塩・素焼き〉
(マルコの蔵など)



②ビーナッツ〈殻付き〉
(マルコの蔵など)



③ビーナッツのペースト
(ちょうほう屋)



④ゆで落花生〈冷凍〉
(ちょうほう屋など)



⑦パリ・プレスト・P
(おかしの平和堂)



⑧ピナンシェ
(おかしの平和堂)

商品の購入・お問い合わせは
各店舗までお願いします。



山形・金山町産 落花生
ビーナッツ
BEAUTIFUL PEANUT



⑤くるビーンズ
(ホテルメトロポリタン山形)



⑥ビーナッツ豆腐
(肴や太郎)



4年目を迎えた金山町産落花生「ビーナッツ」



町と株式会社でん六、山形大学東北創生研究所の3者による「農業振興協定」を締結し、今年度で4年目を迎えました。同時に生産者団体である「金山町新産地開発協議会」を立ち上げ産学官+農として、さらには、新庄信用金庫から支援をいただくなど、各関係機関で連携して、金山町産落花生の栽培に取り組んできました。

栽培を開始した1年目は、生産者8名、43aでの取り組みでしたが、4年目の今年は生産者17名、栽培面積は3.3haにまで拡大しました。4年目を迎えてもなお、毎年新しい問題が生まれ、改めて農業の難しさを感じています。1年目は慣れながらも経験と実績を得ることができ、2年目は金山町ならではの気象条件

による病害虫対策や生育適期日数、乾燥などへの技術開発に着手しました。3年目は殻付き落花生の商品が出せる品質にまで技術が向上した一方で、天候や鳥獣害による新たな課題に直面しました。4年目は機械化による作業効率アップ、鳥獣害対策や連作障害対策の更なる追求を検討しました。この4年間で生産者と関係者が、一緒に課題を分析し、試行錯誤しながら解決策を考え、実行することで、持続可能な産地形成に向けて着実に進歩を遂げています。

一方、金山町産落花生「ビーナッツ」は、新聞、テレビなどでも多く取り上げていただいております。町民の皆さんも目にする機会が多いのではないのでしょうか。今回、紹介したものの以外でも、商品化について検討・交渉中の事案もあり、今後も町の新しい農産物として積極的にPRをしていきたいと考えています。

落花生は他の農産物に比べ、軽作業が多く高齢者や女性にも取り組みやすい作物です。また、ニラ、きゅうりなどに比べ作業時間が少ないこともあり、新規に取り組みやすい品目です。今後とも関係各位のご協力をいただきながら、面積拡大に取り組んでいきます。

INTERVIEW

落花生栽培を始めて4年、徐々に面積を増やしながら、転作田での栽培を中心に取り組みを行っています。播種機をはじめ、掘り取り機、脱粒機など栽培に必要な特殊な農作業機器について準備しており、作業受託や機器の貸し出しも行っています。また、(株)でん六からの指導のもと、「ビーナッツ栽培マニュアル」もあり、協議会では新しい栽培者への支援を行います。来年度一緒にチャレンジされる方を募集しますのでぜひご連絡ください。



金山町産業課 52-2111
金山町新産地開発協議会
会長 青柳 栄一(橋台)

金山町の新たな特産物「ビーナッツ」定着のために、作る・食べる・売る・買う・語るなど町内外の関係者により着実にブランドが育ってきています。皆様が感じているビーナッツへの期待や将来性の実現のために引き続き弊社もお力添えできるように努めてまいります。



株式会社でん六
企画開発部 豆類研究課
フィールドマン 倉田 大輔

～(株)でん六と県立米沢栄養大学による落花生の実証実験～



山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部
健康栄養学科
加藤 守匡 教授
○専門分野
運動・栄養生理学
○研究テーマ等
運動及び栄養が心身の健康に与える影響を脳機能を中心に研究

ビーナッツを食べて気分アップで記憶力改善！

2020年7月から、素焼きの渋皮付き金山町産落花生を1日30g、週5日間の頻度で食べる調査を65歳以上の方に3カ月間ご協力いただき、認知機能や気分、体組成、血中脂質、ストレスホルモンへの影響を検討しました。認知機能はパソコンを用いて9種類の測定から詳細に評価した結果、落花生摂取により言語記憶のスコアが高まりました。言語記憶は、日常生活ではある文字を記憶して、その直後や数十分後に思い出す時に利用されますが、認知症とも関連深い認知機能の1つです。今回の調査からこの改善には落花生の摂取によるストレスホルモン

の増加抑制が関係していたと推察しています。また、落花生摂取期間では沈んだ気分や全体的健康観も改善されており気分的にも良好な状態になることが見受けられました。そして、落花生の習慣摂取による体脂肪率、血中脂質などの変化はありませんでした。地元の落花生を継続的に食べていただくことにより脳や体の健康にも良い作用をもたらしてくれると思っています。ぜひ、皆さんも1日30g程度食べてみてください。この調査に御協力いただきました町民の皆さんに心より感謝申し上げます。

にら部会長の大場さん⑦
事務局であるJA金山の伊藤さん⑧



令和3年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞受賞者が決定し、11月24日、ホテルメトロポリタン山形において表彰式が行われました。今年は、大高根農場記念山形県農業賞に、最上広域野菜振興協議会にら部会（最上全域）が選ばれ、代表して部会長である大場孝氏（山崎）が表彰式に参加しました。

最上広域野菜振興協議会にら部会 大高根農場記念山形県農業賞を受賞

大高根農場記念山形県農業賞は、山形県の農業の振興発展に尽した功績が顕著で、他の模範とされる農業者、農業団体等に贈られます。今回受賞した最上広域野菜振興協議会にら部会は、平成6年に設立し、現在の組合員数は310名、栽培面積は172ha、生産量は約2,300tとなっており、平成5年から統一ブランド「達者de菜」の出荷を行っています。

また、山形県の露地栽培のにらの作付面積は全国1位で、当部会の栽培面積は県全体の95%を占めています。にらは、冷涼で日照時間が少ない最上地域の転作物として適しており、収穫期間は継続して現金収入を確保できることから、農家の経営改善に大きく貢献してきたことも評価されました。今回の受賞を機に更なる飛躍を期待します。



協定書を手にする佐藤町長と
板垣新庄警察署長

新庄警察署と最上8市町村が協定締結 情報発信システムを活用し安全を確保

12月15日、最上8市町村と新庄警察署による「重要凶悪事件等発生時における行政情報放送の活用に関する協定書」の調印式が執り行われました。この協定は、最上8市町村と新庄警察署が連携して、各市町村の防災行政無線などの情報発信

システムを活用して、住民の生命、身体及び財産に重大な危険が及ぼすおそれのある犯罪や、子ども対象の犯罪や特殊詐欺等の情報を迅速かつ確実に住民にお知らせし、地域の方々の安全・安心を確保することを目的としています。

町除雪班の安全祈願祭を執行 「安心安全な雪道の確保」を宣言

12月1日、町除雪班の結団式と安全祈願祭を執り行いました。須藤謙班長（樋台）は、「除雪作業の重要性を十分認識し、安全で安心な冬期間の道路環境を確保するため、一致団結して作業に務める」と意気込みを語りました。続けて「事故

のない除雪作業を行うため、日頃から健康と体調管理に留意したい。交通規則を遵守し、事故を起こさないよう万全の体制で臨む」と無事故宣言が表明され、19名の班員の皆さんは身が引き締まる表情を浮かべていました。



19名の除雪班が町道の除雪を行います

星川建設株式会社と有限会社星輪 地域貢献事業として全景写真を寄贈

星川建設株式会社（星川喜代表取締役社長）と有限会社星輪（星川廣哉代表取締役社長）が神室ダムの工事作業にあわせ、ドローンを使い、有屋小学校の校舎全景写真を撮影しました。今年度で閉校する有屋小学校の校舎と在校生の姿を記念

に残したいという地域貢献事業の一環として撮影。写真は、有屋地域のホットハウス神室に寄贈いただきました。星川建設五十嵐工務主任は「子どもたちはドローンに興味津々の様子だった。閉校の記念に撮影でき良かった」と話してくれました。



10月29日に撮影された全景写真

K-hour 山形エクセレントデザイン2021入賞

山形エクセレントデザイン2021においてK-hourが72社、88点の応募の中から、入賞しました。エクセレントデザイン賞は、魅力的で競争力の強い商品づくりとデザインマインドの向上を目指す事業として、県内で企画・開発・生産されている製品を対象に、優れたデザインについて選定・顕彰されるものです。

受賞にあたりK-hourの取り組みは「長く行政と町民で育ててきたものを基軸に、アッパードットするかたちで外の視点を付加させ、町ぐるみの地に足がついた取組みになっている。継続性のある展開に期待したい。」という評価をい

ただきました。

今後も金山町の暮らしの豊かさや楽しさを後世に伝えていくため、観光・文化・交流を軸に金山町との「関わりしろ」の形成に向けて継続し取り組みんでいきます。



④12月16日、やまぎん県民ホールで表彰式が行われました ⑤入賞したK-hourはマルコの蔵・シェーネスハム金山で購入できます ⑥町公式YouTubeから動画をご覧になれます



ついにシーズンイン 神室スキー場営業に向けて安全祈願祭

シーズンインを目前に控えた12月10日、神室スキー場に従業員や関係者が集まり安全祈願祭を執り行いました。佐藤町長は「昨年の安全祈願祭では雪が舞っていた。今シーズンは例年並みの積雪予報である。冬期間は閉じこもりがちになるので

ぜひ神室スキー場にご来場いただき、ウィンタースポーツを楽しんでほしい」とあいさつしました。今シーズンも毎月第2土曜日のスキー子どもの日などお得なイベントを開催予定。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

「すばしっこさ」習得に向けて 金山町スポーツ研修会を開催

11月27日、原田隆弘さん(株式会社クレーマージャパン)を講師に迎え、金山中学校体育館で金山町スポーツ研修会が開催されました。研修会のテーマは「すばしっこさ」の習得。ラダーという梯子状の道具を利用し、素早い動作を身に着ける理論を学び実践しました。小中学生とスポーツクラブ指導者合わせて44名が参加し、各々の俊敏性の限界に挑戦しました。



▲スポーツ研修会に参加した小中学生

柴田明さん（七日町） 練習の成果を発揮し見事優勝を飾る

第48回東北私立高等学校ソフトテニス選手権大会が10月16日、山形市総合スポーツセンターを会場に開催され、柴田明さん(山形城北高校2年：七日町)が女子個人で3位入賞を果たしました。また、11月6日～7日に開催された山形県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技では女子個人で見事優勝しました。今後開催される上位大会での活躍を期待しています。



▲山形県新人大会で優勝を飾った明さん(写真右)

▼東北ジュニアシングルスソフトテニス大会で優勝を果たした結月さん



小学生ソフトテニス大会で大活躍 柴田結月さん（七日町）

山形県小学生ソフトテニス(学年別)大会が9月25日に鶴岡市小真木原テニスコートを会場に開催され、柴田結月さん(金山小4年：七日町)が見事3位入賞を果たしました。また、10月31日に福島県北上市で開催された第22回東北ジュニアシングルスソフトテニス大会では東北地区の強豪選手を相手にリーグ戦を勝ち抜き見事優勝を飾りました。結月さんの今後のご活躍を期待しています。

▼11月にはボランティアグループが主催の「いきいきサロン」を開催



十日町ボランティアグループ 事業を通し地域の交流を深める

十日町ボランティアグループは、平成22年に設立し現在、34名の会員で活動しています。資源回収として年3回の廃品回収や高齢者世帯への手づくり弁当の配布など、11年間継続して、地域住民の交流を深めるために主体的に活動を実施してきました。会長の柴田純一さんは「高齢者を見守りながら、地域の活性化に貢献していきたい」と話してくれました。



▲手に汗握る戦いをみせた選手と柔道連盟の皆さん

明安小伝統の「しめ飾りづくり」 新年を幸せに迎えるために

年の瀬迫る12月17日、明安小学校の伝統行事「しめ飾りづくり」が行われました。しめ飾りは、神様が降りた神聖な場所を示すもの。これがあるところには、不浄のものや悪霊は入れないと言われています。地域のおじいちゃん、おばあちゃんに手伝ってもらい一生懸命作ったしめ飾り。児童たちは「明安小の最後のしめ飾りづくりはとてもいい思い出になった」と振り返りました。



▲慣れた手つきでしめ飾りを作り上げた6年生のふたり

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

金山町柔道選手権大会 白熱した戦いをみせる

12月4日、新庄南高金山校武道館において第4回金山町柔道選手権大会が開催されました。2年ぶりの開催となった今回は参加人数も増え、最高年齢は64歳、最年少は18歳と幅広い年代での対戦となりました。現役高校生の成長は著しく、昨年までは完敗していた相手にも互角以上の戦いをみせ、観客からは盛大な拍手が送られていました。庄司倭さん(板橋)が優勝を飾り大会は幕を閉じました。

▼11月30日に佐藤町長を訪れ受賞を報告された



阿部勝子さんが厚生労働大臣表彰 長きにわたり食生活改善に貢献

阿部勝子さん(荒屋)が令和3年度栄養改善関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。阿部さんは、平成15年度から令和元年度までの18年間、金山町食生活改善推進協議会の会長として、地域の健康づくりに精力的に取り組んでこられ、長年にわたり食育や地産地消の推進、様々な機会での食生活改善と健康づくりに貢献されたことが評価されました。受賞、誠にありがとうございます。

治療のできる認知症



山形県立中央病院
脳神経外科 菅井 務

皆さん、こんにちは。金山診療所で月1回、外来診療させて頂いております山形県立中央病院脳神経外科の菅井と申します。中央病院では脳腫瘍を中心に幅広く診療しています。

今回は高齢化社会になり皆さんが気になっているであろう認知症について簡単にお話します。認知症は長寿に伴い増加傾向で数年後には高齢者の5人に1人が認知症かその

予備軍になると試算されています。現在の多くの認知症はアルツハイマー型といわれるもので脳の神経細胞に特殊なタンパク質などの物質が蓄積し神経細胞がさび付いた状態になり発症するものです。現在色々な治療薬の開発が進行中であり、そう遠くない将来に治すことが可能になるかもしれないですが、まだ治すことは出来ず何とか進行を抑える治療をしているのが現状です。

しかし認知症の中には明らかな原因があり、外科的に治療可能な認知症があります。ひとつは慢性硬膜下血腫という疾患で高齢男性、大量飲酒が危険因子です。比較的軽微な頭部外傷(車の乗り降り時にドアに頭をぶつけた、雪で滑って転倒したなど)の後、2週〜3ヶ月の間に頭蓋骨と脳の間にジワジワと血液がたまってくる病気で、ゆっくりとたまってくるため症状もゆっくり出現し進行します。症状としては認知症様の症状、歩行障害、尿失禁が特徴

です。治療は頭蓋骨に1cmくらいの穴を開け、たまった血液を排出するだけの簡単な治療で劇的に改善します。外傷の既往、症状、頭部CTで比較的簡単に診断でき、簡単な手術でほぼ治る疾患で、約1週間で退院できます。

もうひとつは特発性水頭症という病気で、脳の中を流れている髄液が脳室に貯留し、脳を圧迫、認知症様の症状を呈する疾患です。頭の中で髄液吸収の機能が衰え、少しずつ髄液がたまり症状が出現します。治療は脳室と腹腔内を細い管でつなぎ余分な髄液をお腹の中に排出するシャント術という手術になります。管は体内に埋め込まれますので外からは見えず、日常生活の問題となることもありません。どちらの疾患も頭部CTで判断が可能で、比較的簡単な手術で治療ができます。

頭部CTは金山診療所で撮影が可能です。何か困っていること、不安に思うことがありましたら気軽にご相談ください。



— Forever in My Town! —

いつまでも
住み慣れた金山で

Part.21

— Enjoy My Life! —

在宅介護を応援します

12月1日(水)に「在宅介護を応援する会」を開催しました。この会は、介護をしている家族の方の交流や勉強ができる場、認知症サポーターが活動できる場、医療職・介護職等の情報交換の場となることを目指しスタートしました。

1回目のこの日は、自宅で介護を行っている方々や、みずぎ荘・健康福祉課職員など13人が集まり、講話や情報交換が行われました。「寝たきりにならないように、運動や日常生活でのリハビリが大事」「在宅サービスを上手く使えば施設でなく自宅で過ごせる」「ヘルパー等介護職の人材不足が深刻」「日



「在宅介護を応援する会」は交流や学習を通してリフレッシュしたりする場です。お気軽にご参加ください。

頃から、かかりつけ医とともに緊急時対応できる医療機関を確認しておくことが大事」などの意見が出され、在宅介護について学ぶ有意義な時間を過ごしました。また、長い介護生活で「在宅介護は疲れた」と本音を話してくださる方もおられ、在宅介護の課題を改めて認識することもできました。

この会を励みに、介護する方もされる方も、元気に地域での生活が続けることができるように、地域包括支援センターと関係機関で連携を図り、在宅介護のお手伝いをしていきます。

今後の予定	日時	内容	場所
第2回	1月26日(水) 9:30~11:30	お話「高齢者虐待について考える」 「認知症の方への介護」	マルコの蔵(2階)
第3回	3月9日(水) 9:30~11:30	お話「家で看取るための医療と介護の連携」 「介護の新情報、いろいろ」	

講師は、みずぎ荘や健康福祉課の職員です。参加希望の方は、前日まで電話等で申込み可。

申込み 金山町地域包括支援センター ☎52-3035 (松田)

ローリングストック法で備蓄しておくと良いもの



缶詰
野菜や果物の缶詰で栄養を。

乾麺
ゆで時間の短いもの。

スープなど
スープ類は食欲がない時に摂取可能。

調理器具の備え



カセットボンベ
1本で約60分使用可能。

必需品としてセットしておきたい防災グッズが「カセットコンロ」です。被災直後の一時的に電気やガスが止まり、熱源を失ってしまう状況で、カセットコンロはとても重宝します。カセットボンベの買い置きを少し多め(15~20本)にして災害時に備えましょう。

「一言で災害に備えると言っても、するべきことは少なくありません。ですが、全てを一気にこなすのは難しいのも事実です。だからこそ、まずは、自分にできることから始めてみましょう。

備えはいつ始めても、早すぎるということはありません。



「ローリングストック」とは?

ローリングストックとは、従来からの「災害用の備蓄は期限の長いものを買って、何かあるまで触らずに置いておく」という備蓄方法ではなく、普段の生活で使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、ストックされたもののうち古いものから順に日々の生活の中で使い、その使った分を買い足すことで、常に新しいものが保存(備蓄)されていくという災害用備蓄の考え方です。

第12回

「ローリングストック」をはじめよう

防災
高めよう自助の力



■もしもの場合に備え、「ローリングストック」で普段の生活に「備蓄」を取り入れましょう。

大規模な災害が発生すると、電気、水道、ガスなどのライフラインの停止や物流の停止により、生活に必要な食料や日用品が手に入らなくなる可能性があります。

こうした場合、町などによる公的な支援が実施されることとなりますが、すぐに届かない、細かなニーズには応えられない、といった問題が生じる可能性があります。『自分の命は自ら守る』『自分でできることは自らする』取り組みとして、最低3日分、できれば1週間分の食料や飲料水、日用品を「備蓄」し、もしもの場合に備えましょう。

2022年度分を募集！
「公益信託荘内銀行ふるさと創造基金」

2001年に創設された「公益信託荘内銀行ふるさと創造基金」。県内における学校教育、社会教育、文化の振興に関する生涯学習に資するための活動を支援します。

募集締切	2022年2月18日（金）※事務局必着
助成対象期間 および 助成対象活動	2022年4月1日から2023年3月31日までに 行われる ・学校における教育的な活動 ・地域住民と一体になった社会教育的な活動 ・県内に伝わる文化的な活動 ※宗教的、政治的宣伝意図を有するもの及び営利を目的とするものは除く
助成金総額	1 団体10～40万円（活動内容に応じて決定）
助成決定時期	4月下旬～5月上旬
応募書類	荘内銀行ふるさと創造基金ホームページ からダウンロードしてください
応募方法	Eメールのみ

〒023-626-9006
公益信託荘内銀行ふるさと創造基金事務局

雪害事故防止月間です

- ▼期間 1月7日（金）～2月6日（日）
- ▼安全な雪下ろし作業の8つのポイント
①気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意する
②ヘルメットを着用し安全な服装で作業する
③転落防止のため命綱を使う
④はしごはしっかり固定する（足元も先端も）
⑤使いやすい除雪道具を使う
⑥2人以上で作業する（携帯電話を忘れない）
⑦無理な作業はやめる（休憩をとりながら）
⑧足場は特に注意！（軒先は危険。足場は慎重に）
- 〒023-630-2230
県防災くらし安心部防災危機管理課

今月の納期

- ◆国民健康保険料 第7期
- ◆介護保険料 第7期
- ◆後期高齢者医療保険料 第7期
- 1月31日（月）まで
忘れずに納付しましょう。

119番が回線工事のため
不通になります！

- N119の電話回線の工事に伴い、消防本部への一般電話及び119通報がつかない時間（3分間）が発生します。通話中の電話は、切れることなく会話することができませんが、新たな通話は接続されません。
- ▼工事時間 2月4日（金）
午前0時～午前3時
- ▼接続不能時間 工事時間帯のうち3分間
- ▼代替電話 080-2812-18336
090-4635-19753
- 〒023-630-2230
最上広域消防本部 通信指令課

職業訓練の相談会のお知らせ

- 令和4年3月開講予定の職業訓練について相談会を開催します。訓練実施施設の先生と個別相談ができる貴重な機会です。
- ▼日時 1月12日（水）25日（火）
午後1時30分～午後4時
- ▼訓練種類（新庄市）パソコン、簿記、VBAプログラミング、
（山形市）電気工事技術など
- ▼場所 ハローワーク新庄4階大会議室
〒023-630-2230
ハローワーク新庄
- ▼上限額 一団体あたり50万円

山形県みどり豊かな森林環境
づくり推進事業を募集します

- ▼募集期間 2月2日（水）まで
応募方法など詳しい内容については左記までお問い合わせください。
- 〒029-11350
最上総合支庁森林整備課

新庄金山道路掘削土対策について

- 新庄金山道路のトンネル掘削工事が、荒屋地区・朴山地区の山間部において令和4年度から始まる予定です。掘削により発生する土は、本道路の盛土材として利用される計画ですが、その土（岩石）に自然由来の重金属（鉛・ヒ素・カドミウム）が微量に含まれていることが判明しております。なお、利用に際しては、安全を確保するために国立研究開発法人土壌研究所による助言のもと、左記の対策が講じられる計画です。
- ①遮水シートで盛土材（岩石）を密封し溶出しないよう閉じ込める
- ②新しく作る道路の両側に地下水を調べる井戸を掘り水質を監視する
- なお、本件については、盛土がなされる関係地区住民を対象に、過日説明会を開催しておりますことをお知らせいたします。
- 〒023-688-18930
国土交通省 山形河川国道事務所
役場環境整備課 管理係
〒52-12111（内線274）

マイナンバーカードの申請をお考えの方へ

窓口で申請の補助をしております。ぜひご利用ください！
この時期から申請窓口の混雑が予想されますので、お早目のご準備をお勧めします。

- ▼窓口で申請 ※H27年に郵送された通知カードを紛失した方は、紛失届を記入いただきます。

①もちもの

- 1) 本人確認書類
- 2) 通知カード（お持ちの方）

②窓口で申請書記入

- 1) 氏名 2) 電話番号
※設定する暗証番号も決めて記入していただきます

③写真撮影

- 3枚ほど撮影

- ▼ご自身でWEB申請（スマホの場合） ※写真等不備があった場合はメールで通知が届きます。

①事前準備（写真）

- 背景なし（柄の壁など×）
胸から上部を撮影

②QRコード読み込み

- 申請画面で、名前や
メールアドレスを登録

③写真の登録

- 登録アドレスに届いた
メールから、写真を登録

④カードは役場に到着
ハガキでお知らせします。

【就職や進学で転出される予定の方へ】

カードの申請中に転出をしてしまうと、申請取消となり、転出先の住所地で再度申請となります。通常、カード到着までに約1か月かかりますが、混雑の程度により更にお時間をいただく場合があります。

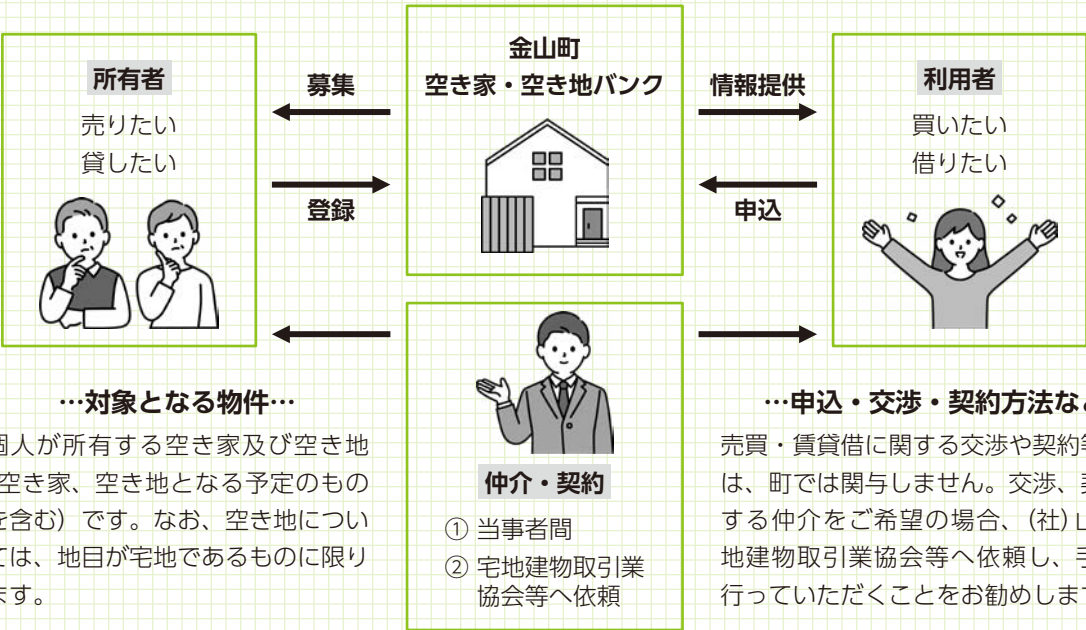
〒023-626-9006
町民税務課 住民係

空き物件をお持ちのみなさん！

住んでいない家・使っていない空き地を
金山町空き家・空き地バンクに登録しませんか？

…空き家・空き地バンクとは…

空き家・空き地の賃貸、売買等を希望する所有者からうけた情報をホームページ等で公開し、利用を希望する方に紹介する制度です。



詳しくは担当までお問い合わせください。 役場環境整備課 管理係 52-2111（内線272）

雪の便りが当たり前のように聞こえる季節になりました。豪雪などなく、穏やかな冬であることを願いたいですね。今回はコラムと、東京金山会の活動についてご報告いたします。

「東京金山コラム」Vol.12「花園神社」

街の空気が乾いて冬の気配がするころ、ちょうど西の市・一の西が始まる。この新宿ゴールデン街の細い路地のちいさな店にも熊手を配る人たち。江戸初期、中山道の一番目の宿場「高井戸」が遠く、その中間点に利便性と商業的な賑わいのある街を目指した「内藤新宿」を設置したのが1698年。その時代から花園神社はここ新宿の地にありました。新宿東口が、少しずつ冬モードへ切り替わる。これから訪れる2021年のクリスマスそして新たな2022年への年越し。神室山に何度か雪が降る。それは、金山が白い雪原に変わる合図。ここ新宿東口のビルと繁華街に囲まれた場所でも白い金山の雪原へ思いをめぐらす。新たな2022年が、全ての人にとって特別な意味を持った最良の年であることを願いたいですね。



【東京金山会・役員会の報告】

2021年12月4日に、役員会を開催しました。まず、次期会長選考に関して、現副会長・高橋 和雄さんを選考することについて報告があり、役員会としての了承を確認。次回総会での正式承認という運びとなりました。また、次回総会「第63回 東京金山会総会」の日程について、2022年6月19日（日）の開催とすることが承認され、開催に向けての具体的な準備を進めていくことが確認されました。準備状況につきましては、今後こちらでも随時ご報告させていただきます。



No.191 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『すっぽんぽんのすけ』
（もとしたいづみ/作
荒井良二/絵 すずき出版）

「はやくパンツをはきなさい」とお母さんは言うけれど、お風呂上りは裸が一番。

「庭の外へ出ちゃえ！」すると、出てきた忍者たち。

「僕は、すっぽんぽんのすけだ～えいっ！」忍者たち、一人残らず出て行った。そこへ、

「うちの子、みいちゃんが連れ去られてしまったのです。どうか助けて」と、涙、涙の母さん猫。

猫のみいちゃんを救い出すため、悪に立ち向かうすっぽんぽんのすけ。いよつ、頑張れ、すっぽんぽんのすけ！



※（ ）内作者名

キャラ絵で学ぶ！都道府県図鑑（いとうみつる）
キャラ絵で学ぶ！世界の国図鑑（いとうみつる）
キャラ絵で学ぶ！織田信長図鑑（いとうみつる）
あちらにいる鬼（井上荒野）

「図書室だより」

中央公民館内 9：00 ▶ 16：00

「目の見えない白鳥さんとアートを见にいこう」
（川内有緒 集英社インターナショナル）
白鳥建二さん、51歳、全盲。年に何十回も美術館に通う。絵画や仏像、現代美術を前にして会話をしていると、新しい世界の扉がどんどん開き、それまで見えていなかったことが見えてきた。アートの意味、生きること、障害を持つこと、一緒に笑うこと。白鳥さんとアートを旅して、見えてきたことの物語。



「働く人のための言いかえ図鑑」
（大野明子/サンマーク出版）
オフィスワーカー、接客業、アルバイト…など、すべての「働く人」に贈る1冊。同じことを伝える場合でも「使う言葉」次第で印象はがらっと変わるもの。仕事のやりがいも、トラブルも、とっさの「ひと言」がきっかけ。良好な人間関係を築くための「ひと言」が身につく本です。



／今月は8冊！／

吾妻おもかげ（梶よう子）
残照の頂 山女日記 続（湊かなえ）
北斗の邦へ翔べ（谷津矢車）
九十八歳。戦いやまず日は暮れず（佐藤愛子）

地域おこし協力隊 通信 No.6

冬の馬体験

隊員 鈴木 ともひろ 朋広



こんにちは、協力隊の鈴木です。10月末のめごたまマルシェから始まった馬車体験は11月末で終了となりました。わずかひと月足らずでしたが、こども園や小学校、地元有屋地区での馬車運行を中心にやってきました。有屋地区は降雪の時期も早く11月いっぱいに行ける期間のような気がします。

来年度は春から町の中に降りて行って、町中で定期的に馬車を走らせようと思っています。町民の方にはフリーパスなどを配って、気軽に利用できるようにしたいと考えていますので、よろしく願います。雪次第ではありますが、町の中ならばもう少し長い期間活動できるかと思っています。

さて、今年の金山の冬は、どれぐらいの積雪になるのかわかりませんが、冬の寒



Facebookで活動
を発信しています！
ぜひチェック
してください！



有屋小学校の馬車体験の様子

い期間、馬は逆に元気になります。雪が積もったら、今度は神室スキー場で馬橋（うまはし）やバナボートなどを引いて遊ぼうと思っています。神室スキー場近辺にいらした際は、馬のいる辺りを覗きにきてくださいね。

金山杉俳句会報 第四五八回



かねやま紅風会

消壺の中を覗くや鳥爪 秋天へ彩を忘るる弥陀ヶ原	星川 キエ子	亡き夫の想ひを誘ふ寝待月 晩秋や朝の血圧不安定	荒屋 阿部 勝利
夕霧にいきなり人の聲近し 蔵王の嶺樹々に霧氷の華やげり	岸 昭子	突として道端よぎる山兔 花八ツ手まだ緑葉を宿しをり	菅越 庄司 けみ子
霧晴れて照葉麗し里の山 冬枯れの烟る梢や雨催	高橋 洋子	冬構へ縄の結びは亡父ゆずり 冬浅し無鑑査初の書作展	七日町 青柳 キエ子
冠雪の月山美しき車窓かな 旅先の孫の絵手紙黄葉舞ふ	鵜沼 よし子	野良犬の遠吠えのごと虎落笛 黒散らす虎の模様の柿を剥く	羽場 坂本 徳太郎
銀杏の葉まだ残りても霽降る 食欲を唆る秋刀魚の炭火焼	阿部 一代	みぞれ降る大沢越えのいろは坂 金色の赤田大仏萩の花	上台 阿部 一步
老骨の軋みを縛り冬支度 爪を切る小春の日差背に負ひて	栗田 弥超	未完なるものへ指折る年の暮れ 箸休め冬至南瓜を偲ぶ宵	七日町 村松 奈風



祝祭日には



を掲げましょう



◎しめ飾りを一緒に作った安沢地区の子どもたちと星川さん

キラリ 金山びと

| No.10 |

地域全体で子どもたちを見守っていく――

星川 重則さん（安沢）



「子どもたちが元気な事が一番。毎年この時期になると子どもたちと一緒に作るしめ飾りづくりを楽しみにしている」そう話すのは、安沢地区の星川重則さん。明安小学校の恒例行事であるしめ飾りづくりで、桃ノ木クラブ（明安地区老人クラブ）の皆さんと共に講師を務めます。「昔の人はだいたい藁（わら）は左（ひだり）に、右（みぎ）は右（みぎ）に」といって、ただ、神事に用いるしめ飾りは左（ひだり）に、右（みぎ）は右（みぎ）に、とされています。星川さんが教えてくれました。一般的に普段の生活で使用する日用品の縄は右（みぎ）に、しめ飾りの縄は左（ひだり）に、とされています。手慣れた様子で藁（わら）を、下級生に教えてあげる姿が見られました。

明安地区は、運動会やスキー大会、老人クラブと合同のグラウンドゴルフ大会などの行事を通して、小学校と地域の交流を図ってきました。星川さんは「今年度で閉校することはしょうがないと理解していても寂しいものがある。統合したら、今までのように学校行事に参加するということはなくなってしまうと思うけれど、明安地区の子どもたちのことは陰ながら見守っていききたい。地区の伝統芸能である安沢歌舞伎を継承している子どもたちはとても誇らしい」と話してくれました。

明安小学校のしめ飾りづくりも今年で最後。児童たちは「最後まで楽しく協力しながらおじいちゃんおばあちゃんたちと一緒に作ることができて楽しかった」と振り返りました。感想を聞いた星川さんは「子どもたちは地域の宝。安心して生活できるよう地域全体で協力していきたい」と温かい眼差しを向けていました。

編集 後記

▼新年あけましておめでとうございます！ 昨年も新型コロナウイルスに振り回される一年でしたが、会食や旅行など、少しずつできることが増えて嬉しく思います。コロナ前と全く同じようには戻れなくても、今年一年は少しでも多くの体験をして思い出を作りたいと思います。昨年もたくさんの方の皆さんにご協力いただきながら広報かねやまを作り上げることが出来ました。今年も手に取っていただける広報を目指します。本年もどうぞよろしくお願い致します。

金山町の人口は、5,119人（11月末現在）

男性	2,517人（－3）
女性	2,602人（－8）
世帯数	1,735世帯

11月の異動	
出生	2人
死亡	11人
転入	9人
転出	11人